

円照寺の板碑(入間市)

ここが円照寺(元加治弁財天)/武蔵野三十三観音霊場第22番/武蔵七党の丹党に属した加治氏歴代の菩提寺という



説明板が立っている



入間市景観50選になっているようだ



奥多摩新四国第58番霊場でもあるようだ





三つた 大 加 朝

三つた

三つた

三つた

三つた

三つた

これは不動堂/所沢市指定文化財/1779年再建



正面が北向きのため「北向き不動堂」ともいわれる



円照寺不動堂付棟札

市指定文化財（建造物）
指定年月日 昭和五十八年四月二十二日

この不動堂は、棟札によると安永八年（一七七九）に永田村（現飯能市）の宮大工細田源左衛門栄貞により再建されたものである。細田は、黒須にある春日神社本殿の建築も手がけた記録が残っている。

構造形式は一重の三間四面堂である。正面が北であるため、「北向き不動堂」と呼ばれる。寄棟造りの屋根は、もとは茅葺であったが瓦に葺きかえられ、現在は銅板葺である。軒を支える垂木を放射状に配置した扇垂木の手法や正面の赤い扉が棧唐戸である点は禅宗様、側面の扉は舞良戸で柱の上のみ組物を配する点は和様と、異なる様式を自由に組み合わせている。部材の随所に施された鳥や花などの彫刻は、江戸時代以降の寺社建築に見られる特徴である。このように、近世寺院建築の特徴をよく備えており、中世建築の禅宗様を今に伝える市内の高倉寺観音堂と比較して見ると興味深い。

平成二十四年十月三十一日



入間市教育委員会
入間市文化財保護審議委員会



彫刻など近世の雰囲気



禅宗様の扇垂木



禅宗様の棧唐戸



側面の舞良戸



背面を見たところ/縁が周っている



斗拱は柱の上のみだが、蟬股などの彫刻は近世の雰囲気



隅部を見たところ/禅宗様の扇垂木/木鼻は近世の雰囲気



こんな石造物もあった



赤い橋を渡ると弁天堂/奥は本堂



池に浮かぶ弁天堂



弁天堂正面/右手に見えるのが先程の不動堂



本堂(左手)と客殿(右手)



本堂/この手前を左に行くと板碑の収蔵庫がある



斜め右手から



ここが板碑の収蔵庫/左手前に説明板が立っている



この収蔵庫の中に重要文化財の板碑他が保管されている



円照寺の板碑

国指定重要文化財(有形文化財) 考古資料
指定年月日 昭和二十八年二月十四日

(指定名称) 板碑(刻無学祖元臨劍頌)

元弘三年(一一三三)五月廿二日 道峯禪門在銘 一基

付 板碑

五基

- 一、建長六年(一一五四)五月十六日在銘
- 一、文永七年(一一七〇)正月十三日、丹治宗泰在銘
- 一、嘉元三年(一一三五)八月八日在銘
- 一、文和三年(一一三四)八月十五日、丹治季貞在銘
- 一、応安元年(一一六八)九月五日在銘

円照寺は『円照寺縁起』によれば、加治豊後守家茂が二俣川の戦(一一〇五)で戦死した父家季の菩提を弔うために円照上人を開山として建立したとされ、以後加治氏歴代の菩提寺となり、一族の供養板碑が残されている。

元弘三年(一一三三)五月廿二日道峯禪門在銘の板碑は、高さ一三七センチメートル・幅三八センチメートル・厚さ五センチメートルの緑泥片岩製で、上部に胎蔵界大日如来(アーンク)の種子が蓮花座に乗り、脇侍にウーンとキリクが刻まれている。また、紀年銘の左右に無学祖元の臨劍頌といわれる七言絶句の偈が刻まれている。

道峯禪門は『太平記』に「加治二郎左衛門入道」として登場する加治左衛門家貞の法名で、元弘三年五月廿二日は、鎌倉幕府滅亡の日にあたる。加治家貞は、新田義貞軍を撃つために幕府軍の武将

元弘三年五月廿二日 道峯禪門在銘 板碑



として入間川・久米川の両合戦に参戦するが敗れ、北条氏一族と運命をともにしたものと推定され、この板碑は家貞の菩提を弔うために子孫が造立したものである。

平成五年三月一日

文 化 庁

埼玉県教育委員会
入間市教育委員会

6基の板碑があるようだ

読み解き
ポイント

- ① 新田義貞の鎌倉攻め…幕府滅亡!
- ② 幕府軍の副将・加治家貞
- ③ 偈は無学祖元の「臨劍頌」
- ④ 禅密兼修の信仰形態

胎蔵界大日三尊種子板碑
入間市野田 円照寺蔵(国指定)
元弘3年(1333)5月22日銘
・高さ 137.0cm
・幅 上37.0cm、下41.0cm
・厚さ 5.0cm
・完形



【読み下し文(偈の部分)】

乾坤孤節を卓つる地無し。ただ喜ぶ人空、法
また空なることを。珍重す、大元三尺の劍、
電光影裏春風を析く。

【註】乾坤…天地。孤節…一本の節。

珍重…禅僧が用いる辭去の挨拶。「さらば」
「しきげんよう」。

⑦ 鎌倉幕府滅亡! 「臨劍頌」に託した鎌倉武士の生きざま



重要文化財の弘安三年(1333年)の板碑の記念碑



加治家累世之碑



こんな石造物もあった



鐘樓





参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-ymh/kakuchi/sayama01/ensyouji.html>

<http://www.geocities.jp/kawai5510/saitama-iruma-ensyouji.html>

https://www.city.iruma.saitama.jp/bunkazai/bunkazai/ensyoji_itabi.html

<http://necoco3.cocolog-nifty.com/blog/2013/01/post-1e5e.html>

<http://www.musashino-kannon.com/jiin-22.htm>

http://tempsera.at.webry.info/201104/article_14.html

<http://4travel.jp/travelogue/10827588>

<http://wind.ap.teacup.com/cb400f/2307.html>

